

令和2年度第1回太宰府市総合戦略推進委員会議事要旨  
(まちづくりビジョン会議)

1 開会及び閉会に関する事項

日時 令和2年6月24日(水)

午後1時00分開会

午後2時59分閉会

場所 太宰府市役所3階 庁議室

2 委員出席者

委員長 八 尋 茂 雄

副委員長 八 尋 和 郎

最高顧問 森 田 朗

顧問 福 留 大 士

委員 高 尾 忠 志

委員 松 澤 尚 史

委員 梅 本 雄 一

委員 柳 瀬 隆 志

委員 池 田 昌 太

委員 小 川 祥 平

委員 亀 崎 弘 記

委員 丸 田 幸 一

委員 青 山 博 秋

委員 日 下 部 寛 行

3 執行部

市長部局：楠田市長・清水副市長・山浦総務部長・五味総務部理事・佐藤経営企画課長・  
田上企画政策係長・神田主任主事

4 議題

- (1) 令和元年度総合戦略推進委員会の成果について
- (2) 新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の進め方について
- (3) 令和2年度総合戦略推進委員会スケジュールについて

## 5 概要

議題（１）令和元年度総合戦略推進委員会の成果について

〈事務局説明〉

- ・各部署の事業整理と全庁的な共有
- ・ホームページ、広報による市民への周知、議会への報告

議題（２）新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の進め方について

〈事務局説明〉

- ・福岡県における新型コロナウイルス感染症発生状況
- ・本市における感染症対策
- ・総合戦略を基にした、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた今後の方向性の整理

〈委員提案〉

○A委員

- ・ウイルスの感染を防ぐためには人と人との接触を避けることが重要であり、それに応じた形で我々の社会をつくっていかなければならない。
- ・ストレスを感じないようなデジタルが活用できるという環境にしていくことが重要であり、通信のインフラを整備と、その環境に慣れるための仕組みづくりを進めていくべきではないだろうか。

○B委員

- ・例えば甲子園のような3密でも価値があるものもあるが、満員電車や行列のような価値のない3密を、非接触技術、遠隔技術、可視化の技術等のデジタル技術で開放していくことが重要。
- ・行政サービスの中では紙とはんこ電話と現金の四つをデジタル化すると、行政の生産性というのは極めて上がるのではないか。
- ・デジタル手続きが増加することによって、市役所に来る理由が手続きのためでなく、太宰府をより良くするための議論をするために変化していく。
- ・有事の場合に、個人情報保護も大事だが、公共の福祉を優先させるために個人データを提供するというような意識変化が大事。
- ・インバウンド観光から新たなシフトへ変化し、関係人口や交流人口の増加に努めていくことが重要。
- ・これまでのメガシティ、いわゆる密集型の都市から、ある程度の社会的距離を重視した都市空間になっていく。
- ・IT産業を含めて、成長するセクターに投資をしていくことや、教育・雇用もITセクター向けに集中していくというようなことが必要になる
- ・健康予防意識がこれまで以上に高まって、健康の可視化ニーズですとかあるいは行動変容を起こすような機会というものが到来するのではないか。
- ・実効性のある国民IDをきちんと機能させるというところがポイントになる。

- ・太宰府市の財政の健全化に貢献すればインセンティブをつける等、住民を巻き込んだ財政の立て直しが大事になる。

#### ○C委員

- ・「外（ソト）から家（ウチ）へ」というのは一つキーワードになると考えており、極端に外向きの意識が高まっていたがコロナのせいで一気に内向きになり、それにどのように対応するかが重要になる。
- ・コロナウイルスの影響分析や、宿泊施設の稼働状況のようなオープンデータと、将来人口の推計データや、市町村別の人口推移等、独自で収集できるようなオリジナルデータを組み合わせ機能分析してみると、いろいろな気付が得られるのではないかと。
- ・データを収集するだけでなく、そのデータを何のために、どのように使うかと、客観的なデータを基に様々な判断をすることが大事。
- ・福岡市全体のホテル空室率と太宰府市の観光客との相関関係等、様々な仮説検証をしていくことが重要である。

#### <意見・提案>

- ・全ての分野のデジタル化において、専門人材の確保等をどのようなスピード感で、どのような予算で詰めるのか。
- ・デジタルやデータに関する理解力の教育、啓発も同時に進めていく必要がある。
- ・情報の一元管理と発信力を向上させることが効果的ではないか。
- ・観光客の行動が変容する可能性が高く、大人数による行動が避けられ、最低限の接触対応で、サービスを提供していく必要がある。
- ・強い目的やテーマ性を持った観光客が増加することが予測されるので、それなりのコンテンツ、価値の創造が必要。
- ・まずは県内、九州という大きな枠組みの中で、面で捉えた観光事業促進ということを掲げていくべきではないか。
- ・人と会うのが困難になっている状況の中で、コミュニティの結びつきをどのように維持強化していくのかが大きな問題である。
- ・高齢者に対して、どのようにデジタル化を理解してもらい、暮らしやすい太宰府市にしていくかが大きな課題となる。
- ・災害時等に、医療関係情報など必要な情報をうまく活用できるような社会にしていくことが大事である。
- ・観光客に安心感をどのように創出していくのか。
- ・例えば隣の筑紫野市と地域連携した観光戦略も必要ではないか。
- ・観光コースの分散化を検討してみてもは。
- ・データを分析して、混雑傾向を情報開示するだけでも、分散化につながるかもしれない。
- ・セキュリティの懸念もあるが、一番簡単な方法はカメラを設置して、外部に公開しておくという方法であるが、その他にもセンサー等の利用も考えられる。

- ・安心感の創出のために店舗が利用者に消耗品を進呈する費用について、太宰府市が補助をしてはどうか。

議題（3）令和2年度総合戦略推進委員会スケジュールについて

<事務局説明>

- ・令和3年度の経営方針提示後、経営方針に係る事業提案募集スケジュールの説明